

LED投光器 取扱説明書

BVP574 + EVP574

工事店・電機店様へ
お客様へ工事が終わりましたら、この取扱説明書はお客様へ必ずお渡しください。
この取扱説明書は必ず保管してください。

器具仕様

LEDユニット形名	適合本体形名	消費電力	色温度	配光(1/10ビーム角)	調光
BVP574 LED650/CW 375W WB JP S	EVP574 375W 200~242V JP MP	375W	5000K	広角	なし
BVP574 LED620/WW 375W WB JP S	EVP574 375W 200~242V JP MP		3000K		なし
BVP574 LED650/CW 425W MB JP S	EVP574 425W 200~242V JP HP	425W	5000K	中角	なし
BVP574 LED610/WW 425W MB JP S	EVP574 425W 200~242V JP HP		3000K		なし
BVP574 LED650/CW 425W NB JP S	EVP574 425W 200~242V JP HP		5000K	狭角	なし
BVP574 LED610/WW 425W NB JP S	EVP574 425W 200~242V JP HP		3000K		なし

共通仕様

定格入力電圧・周波数	AC 200~242V 50/60Hz
平均演色評価数(Ra)	70
耐雷サージ	15kV(コモンモード)
使用環境温度	-20~35℃
IP(防塵・防水性能) / IK(耐衝撃性能)	IP66 / IK08
本体仕上	アルミダイカスト(LEDユニット枠)、ステンレス(本体)、重耐塩仕様
表面カバー	ポリカーボネート
感電に対する保護等級	Class I
初期照度補正機能	あり(86%)

外形寸法

LEDユニット 重量: 10.3kg 受圧面積: 0.149m ²	本体 重量: 5.8kg 受圧面積: 0.096m ²
---	---

LEDユニットの取り付け方向と可動範囲

水平面	天井面	壁面(上向き)	壁面(下向き)	壁面(横向き) 取付不可
※壁面設置(上向き、下向き)の場合、台座を回転させないでください。				

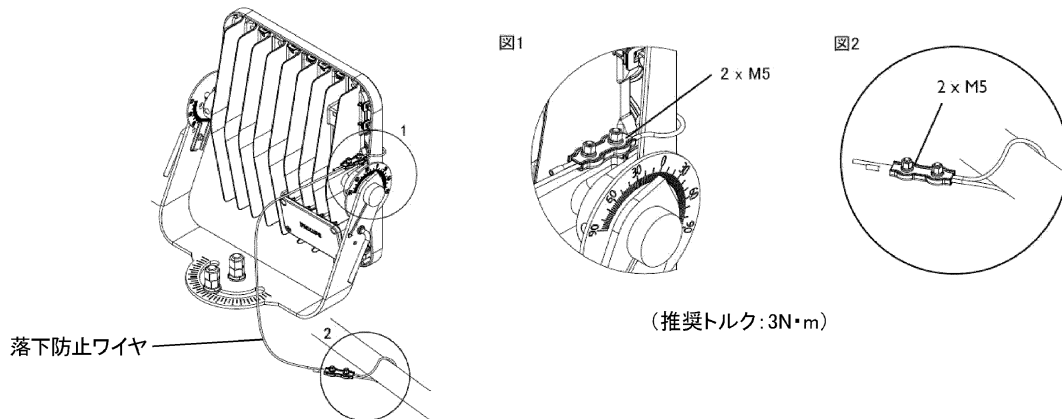
施工の前に

施工時には下記工具が必要となります。

- プラスドライバー(＃1)
- レンチ

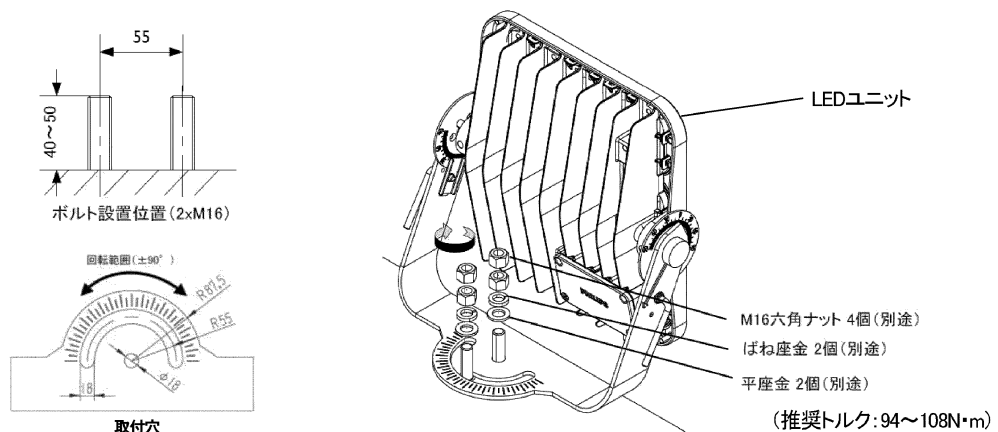
● LEDユニット落下防止ワイヤの取り付け

- 1) 事前準備としてLEDユニットを台座に取り付ける前にLEDユニットに付属されている落下防止ワイヤの六角ナット(2×M5)を外し、ワイヤ片側を下記図1のようにLEDユニットへ取り付け、再度六角ナットを締め付けワイヤを固定してください。
- 2) LEDユニットを台座に設置後、落下防止ワイヤの反対側も六角ナット(2×M5)を外し、必ず構造物の堅牢な箇所に下記図2のように固定し外れないことを確認してください。その際落下防止ワイヤが大きく弛まないよう長さ調整をしてください。取り付けに不備があった場合やLEDユニット落下の衝撃に耐えられない箇所への施工は、落下の原因となります。



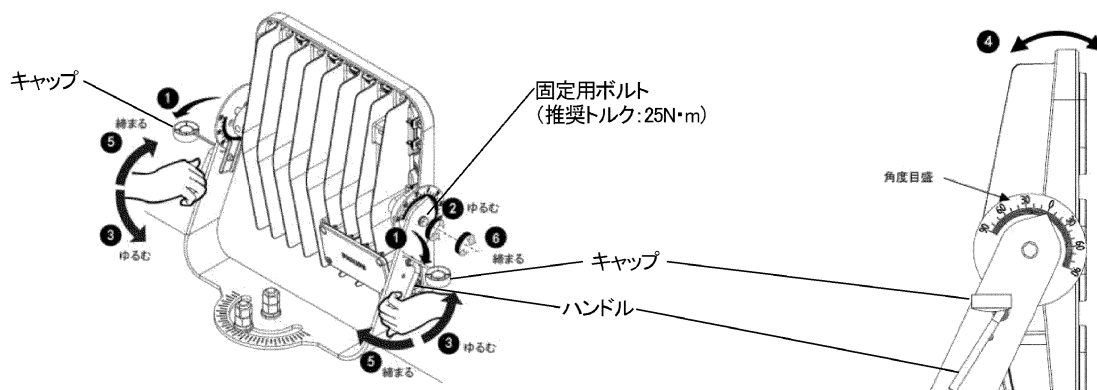
● LEDユニットの取り付け

- 1) 構造物の取付面にM16取付ボルトを55mm間隔で2本設置し、LEDユニットの取付穴に挿入してください。水平角を調節した後、取付ボルト各々に平座金(別途)、ばね座金(別途)、六角ナット(別途)を入れ、ゆるみのないよう締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下の原因になります。
- 2) 指定以外の取り付け方向と可動範囲には器具の取り付けはできません。落下の原因になります。



● LEDユニットの垂直角度調節

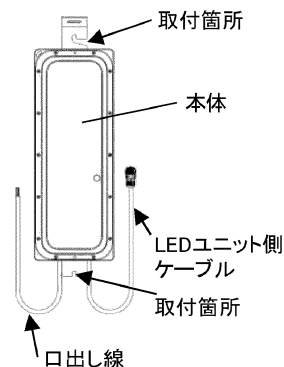
- 1) LEDユニットの照射可動範囲を確認してください。指定角度以外の場合、異常な温度上昇や浸水による絶縁不良や不点灯の原因となります。
- 2) 角度の調整はLEDユニットを支えながら両側のキャップを外し(①)、固定用ボルトを緩め(②)、さらにハンドルを緩め(③)、ゆっくりと角度を合わせてください(④)。
- 3) 角度を調整後、LEDユニットがずれないようにゆっくりとハンドルを締め付けてください(⑤)。
- 4) ハンドルを締め付けた後、工具を用いてLEDユニットの両側の固定用ボルトを確実に締め付けてください(⑥)。締め付けが不十分な場合、落下の原因となります。その後両側のキャップを再度はめ込んでください。



● 本体の取り付け

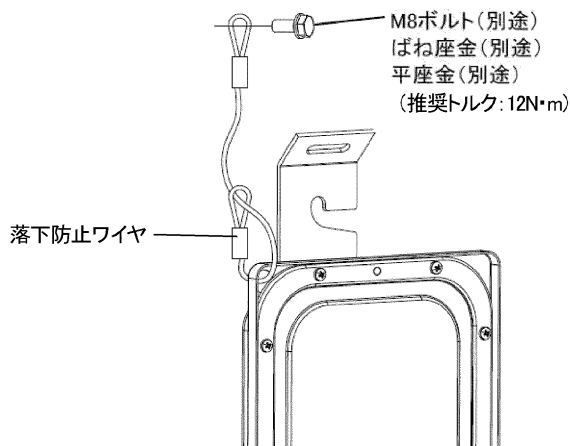
- 1) 取り付け前に本体の重量に耐えるよう、取付け部の強度を確認してください。
- 2) 取り付け方向に制限があります。屋外・屋内それぞれ下記の表のように取り付けてください。取り付け方向を間違えると落下・浸水による感電の原因となります。
- 3) 取り付けはM8ボルト(別途)で取付箇所へ確実に固定してください。(推奨トルク: 12N・m)
※本体を2台以上設置する場合は、本体間を10mm以上離して設置してください。

壁面垂直 (ケーブルグランドが下側)	壁面垂直 (ケーブルグランドが上側)	床面水平	天井面水平	壁面横向き
屋内○ 屋外○ 	屋内× 屋外× 	屋内○ 屋外× 	屋内× 屋外× 	屋内× 屋外×



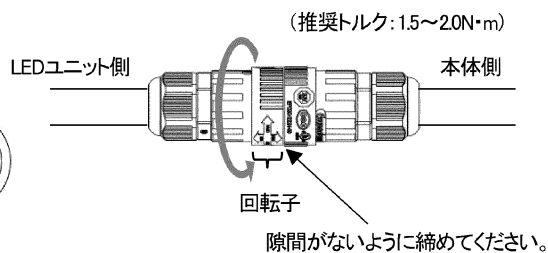
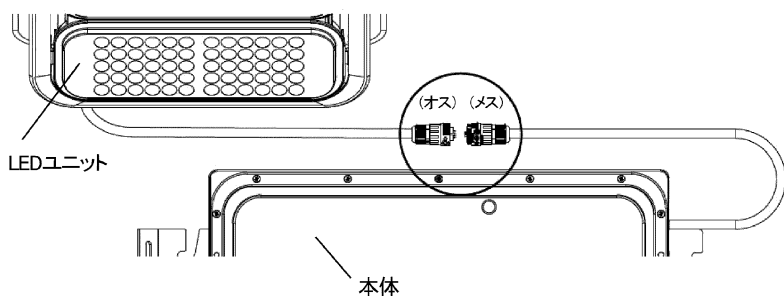
● 本体落下防止ワイヤの取り付け

- 1) 本体に付属の落下防止ワイヤを使用し、ワイヤ片側を下記図のように本体へ取り付けてください。
- 2) 落下防止ワイヤの反対側は必ず構造物の堅牢な箇所にM8ボルト(別途)、ばね座金(別途)、平座金(別途)で固定してください。またM8ボルト以外にカラビナ(別途)を使用し構造物の堅牢な箇所に取り付けることも可能ですが、必ず固定されていることを確認してください。



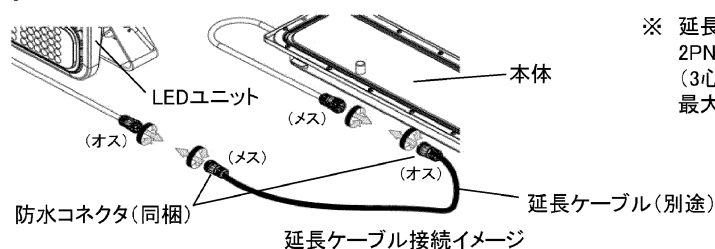
● 本体とLEDユニットの接続方法①

- 1) 本体とLEDユニットの防水コネクタを接続しオス側の回転子を回して隙間がないよう確実に閉めてください。浸水の原因となります。



● 本体とLEDユニットの接続方法②～延長ケーブル使用

延長ケーブル(別途)を使用する場合は推奨されるケーブル(※)を準備し、本体に同梱されている防水コネクタを延長ケーブルに結線してください。本体及びLEDユニットには極性があります。本体の+、-の極性をLEDユニット側と合わせて結線してください。



※ 延長ケーブル推奨仕様

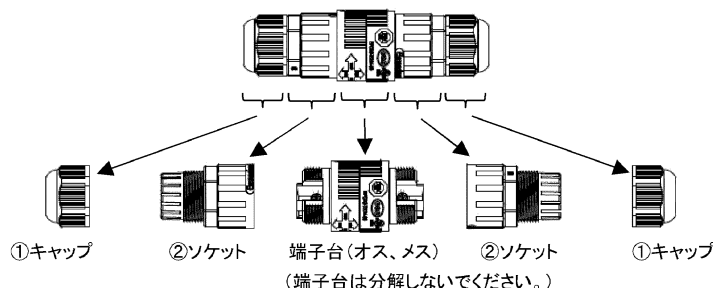
2PNCTケーブルと同等以上の性能を有するもの。

(3心、1.25mm²～2.0mm²、仕上外径 φ10.5mm～φ11.1mm)

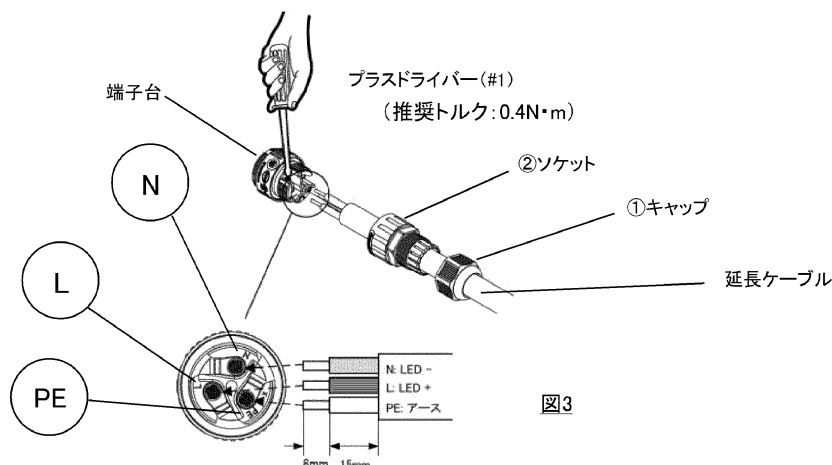
最大長さ: 30m(3心、1.25mm²)、48m(3心、2.0mm²)

延長ケーブル接続イメージ

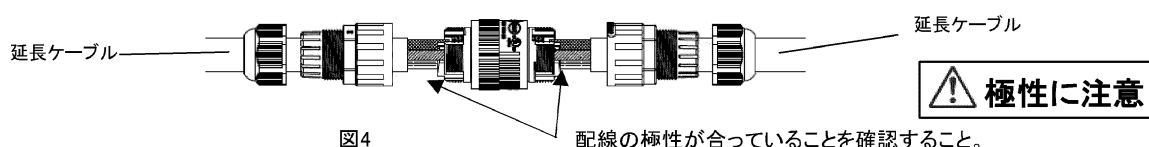
- 1) 本体に同梱されている防水コネクタを①キャップ、②ソケットの順でそれぞれ回して取り外してください。



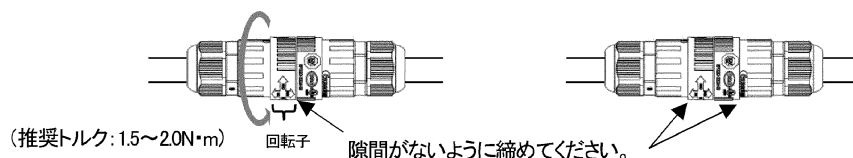
- 2) ①キャップ②ソケットの順にそれらを延長ケーブルへ挿入し、図3のように端子台に配線してください。その際端子台の配線(極性)に注意してください。延長ケーブルの反対側も同様に防水コネクタを配線してください。



- 3) 端子台配線後は図4のように延長ケーブル両端の配線の極性が合っているか必ず確認してください。極性が合っていない場合はLEDユニットの故障の原因となります。
※確認の際には延長ケーブルが輪っかの状態になります。

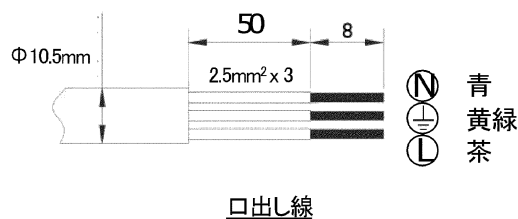
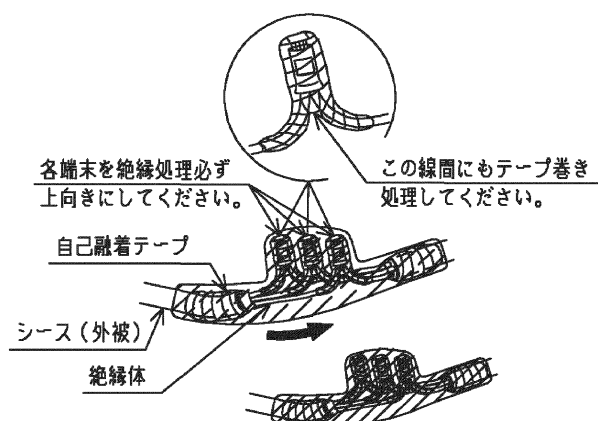


- 4) 配線の極性を確認した後は、端子台へソケット→キャップの順に締付けてください。締付ける際にはケーブルがねじれないよう注意し、端子台とソケットは隙間がないよう締付けてください。締付けた後は延長ケーブル両端の防水コネクタの回転子を回して防水コネクタ同士(オス、メス)を外してください。
- 5) 延長ケーブル両端の防水コネクタをそれぞれ本体、LEDユニットの防水コネクタに接続し、隙間がないよう確実に締めてください。※接続時はオス、メスを合わせてください。



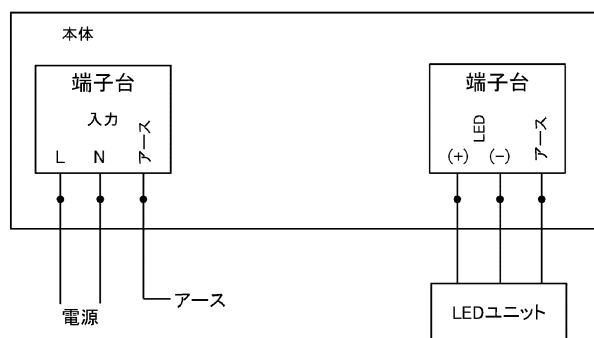
● 電源ケーブルと口出し線の接続方法

- 1) 電気設備の技術基準に従い、口出し線に電源ケーブルの電源線とアース線をそれぞれ接続してください。
 - ※ 配線接続にはIP65以上の結線BOX・コネクタを使用するか、防水性能が保証された自己融着テープを用い、確実に絶縁処理を行ってください。この製品には結線BOX・コネクタは付属していません。
 - ※ 配線接続は水中、地中、雪の下などで行わないでください。



自己融着テープにより各端末を絶縁処理した後、さらにシース(外被)と絶縁体の間に自己融着テープを巻き確実に防水処理を行い、シース部側から絶縁処理を行ってください。

配線図



安全上のご注意

この器具をご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みになり、安全上の注意事項を十分にご理解のうえご使用ください。

■表示の危険度区分は以下の通りです

	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの
	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害や物的損害に結びつく可能性があるもの

■図記号の意味は以下の通りです

	禁止		厳守		感電注意
	分解・修理 改造はしない		必ずアース線を 取付ける		ケガに注意
	触れない		必ず電源を 切って行う		注意

 警告	 注意
 電気工事は電気工事店(有資格者)にお任せください。一般の方の取り付けは法律で禁止されています。施工は取扱説明書に従い確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・発火の原因となります。屋外で結線する場合には防水・絶縁処理を確実に行ってください。不完全な場合、感電・発火・器具不良の原因となります。  配線工事、器具の接続または取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。感電・火災の原因となります。  水没する場所や水中で使用しないでください。感電・故障の原因となります。  本器具重量に十分耐えるよう取付部の強度を確保してください。不備がありますと落下の原因となります。  アース工事は電気設備の基準に従い確実に行ってください。感電・火災の原因となります。  濡れた手で器具を触らないでください。感電の原因となります。  配線する際など電線に張力をかけないでください。断線による感電・火災の原因となります。	 前面レンズにかけやび割れが発生しているものは使用しないでください。破損・落下の原因となります。レンズ表面についた傷やレンズの中に残存する異物の体積変化により、外力が加わらなくてもごく稀に破損することがあります。(社団法人 建築業協会) 定格使用温度帯で使用してください。指定外の周囲温度で使用する、部品劣化による短寿命や光束低下の原因となります。照射面側、本体側を密閉しないでください。短寿命の原因となります。器具を布・紙などの可燃物で覆ったり、燃えやすいものを近づけたりしないでください。火災の原因となります。  点灯中の器具を直視しないでください。器具の点検や交換が不可能な場所には設置しないでください。  点灯中や消灯直後は、前面レンズや放熱フィンが熱いので、絶対に触らないでください。やけどの原因となります。  器具の改造や部品の変更は行わないでください。故障・落下・感電・火災の原因となります。

安全に関するご注意

- 照明器具には耐用年数があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても照明器具の内部の劣化が進行しています。点検・交換をお勧めします。
* 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、耐用年数が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検してください。
- 3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。

使用上のご注意

- 本体とLEDユニットは必ず適合しているものをご使用ください。
- 本製品の光束維持時間は、周囲温度25℃において、想定40,000時間(光束維持率90%)です。LEDの寿命は、光源以外の多くの部品・部材の劣化や、ご使用の環境によって大きく変化します。
- LEDにはばらつきがあるため、同一形名の器具においても発光色や明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- 定格入力電圧±6%の範囲外で使用しないでください。短寿命、火災の原因となります。
- 風速60m/sを超える風が吹く可能性のある場所、器具に積雪(新雪)1mに相当する雪の積もる恐れのある場所では使用できません。
- 海上や臨海部など海水の飛沫がかかる場所では使用しないでください。腐食の原因となります。
- 設置後時間の経過とともに部材の劣化や環境の影響により外観が変化する可能性があります。
- 浴室や塩素を使用した屋内プール等では使用しないでください。腐食による器具落下や絶縁不良による感電の原因となります。
- 照明器具を長時間見続けることがないように設置してください。安全のため、LEDを直視することはおやめください。
- シンナー、ベンジン、アルカリ、弱酸性、塩素系洗剤で拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
- LED光源の交換はできません。不具合が発生した場合はメーカーもしくは販売代理店にご相談ください。
- 器具を水洗いしないでください。
- 本体のカバーは開けないようにしてください。浸水し不点の可能性があります。
- 異常を感じたらすぐに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談ください。

販売代理店

シグニファイ ジャパン合同会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-9-5 SGテラス8F / ライティング サポートデスク 050-5577-9379 (9:00-17:00)